

# キヤノンマーケティングジャパン株式会社 2022年第1四半期 決算説明

2022年4月25日

取締役上席執行役員 蛭川 初巳

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

- 
- 本資料では、億円単位未満の端数は四捨五入により表示しております。
  - 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

**売上高** **1,474億円** (前年比 +71億円 / +5%)

✓ エリアは減収となったものの、コンシューマ、エンタープライズ、プロフェッショナルが増収となり、増収

**営業利益** **148億円** (前年比 +42億円 / +40%)

✓ 全てのセグメントで増益となり、増益

**親会社株主に帰属する  
四半期純利益** **100億円** (前年比 +20億円 / +26%)

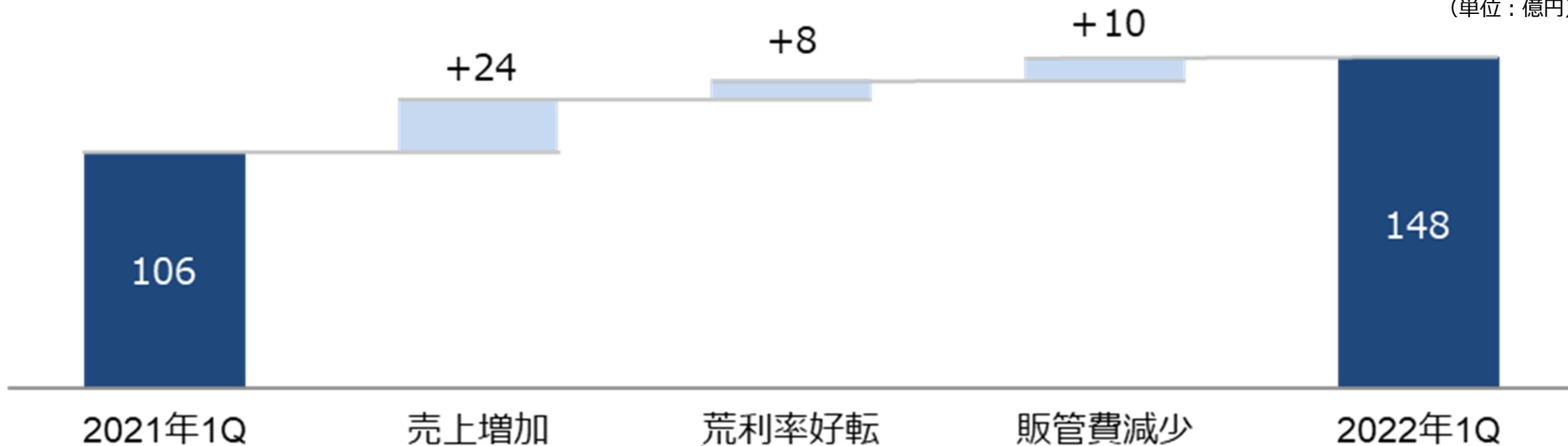
(単位：億円)

## ✓ 営業利益、経常利益は四半期の過去最高を更新

	2021年 1Q	2022年 1Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	1,404	1,474	+71	+5%
売上総利益	(33.7%) 473	(34.3%) 505	(+0.6%) +32	+7%
営業利益	(7.5%) 106	(10.0%) 148	(+2.5%) +42	+40%
経常利益	(7.8%) 109	(10.0%) 147	(+2.2%) +38	+35%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(5.7%) 80	(6.8%) 100	(+1.1%) +20	+26%

# 営業利益分析 第1四半期(1月~3月)

(単位：億円)



## 荒利率好転

- 全てのセグメントにおいて荒利率が好転

## 販管費減少

- その他直接費  $\Delta 3$ 億円
- 人件費  $\Delta 10$ 億円

# セグメント概要 第1四半期(1月~3月)

	2021年 1Q		2022年 1Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	(単位：億円)					
コンシューマ	306	30	312	31	+6	+1
エンタープライズ	473	36	512	54	+39	+18
エリア	594	40	572	45	△22	+6
プロフェッショナル	82	7	128	22	+46	+15
その他	△51	△6	△50	△4	+1	+2
合 計	1,404	106	1,474	148	+71	+42

※「その他」には、セグメント間取引消去とシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれます。

# セグメント情報    コンシューマ

- ✓ 売上高は、レンズ交換式デジタルカメラ、インクジェットプリンターの増加等により、増収
- ✓ 営業利益は、高単価製品等の売上増加に伴い、増益

(単位：億円)

	1Q実績		
	2021年	2022年	対前年
売上高	306	312	+2%
営業利益	30	31	+4%
利益率	9.8%	10.0%	+0.2%

## ■ コンシューマ製品 (対前年伸び率)

		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	年間
レンズ交換式デジタルカメラ	(台数)	+3%	-	-	-	-
インクジェットプリンター	(台数)	+6%	-	-	-	-
インクジェットプリンターカートリッジ	(金額)	+4%	-	-	-	-

- ✓ 売上高は、主要ビジネス機器が製品の供給不足の影響を受け減少したものの、ITソリューションビジネスが好調に推移していることにより増収
- ✓ 営業利益は、売上増加に伴う荒利の増加や販管費の削減に努めたことにより、大幅に増益

	1Q実績		
	2021年	2022年	対前年
ビジネス機器他	161	150	△7%
ITソリューション	311	362	+16%
売上高計	473	512	+8%
営業利益	36	54	+51%
利益率	7.5%	10.5%	+3.0%

(単位：億円)

### ■ (ご参考) 主要関係会社実績

#### キヤノンITソリューションズ

	1Q実績		増減	
	2021年	2022年	金額	率
売上高	245	277	+32	+13%
営業利益	24	38	+13	+55%

#### キヤノンITソリューションズ受注高・受注残高 (対前年伸び率)

		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	年間
受注高	(金額)	+14%	-	-	-	-
受注残高	(金額)	+33%	-	-	-	-

- ✓ 売上高は、主要ビジネス機器が製品の供給不足の影響を受け減少したこと等により、減収
- ✓ 営業利益は、高付加価値な製品・サービスの構成比を高めたこと、販管費の削減に努めたこと等により、大幅に増益

(単位：億円)

	1Q実績		
	2021年	2022年	対前年
ビジネス機器他	421	396	△6%
ITソリューション	172	175	+2%
売上高計	594	572	△4%
営業利益	40	45	+15%
利益率	6.7%	7.9%	+1.3%

■ (ご参考) 主要関係会社実績

キヤノンシステムアンドサポート

	1Q実績		増減	
	2021年	2022年	金額	率
売上高	262	248	△14	△5%
営業利益	10	14	+4	+36%



# セグメント情報 プロフェッショナル

- ✓ 売上高は、全てのサブセグメントが増加し、大幅に増収
- ✓ 営業利益は、増収に伴う荒利の増加や、販管費の削減により、大幅に増益

	1Q実績		
	2021年	2022年	対前年
プロダクションプリンティング	23	25	+7%
産業機器	37	70	+90%
ヘルスケア	22	34	+52%
売上高計	82	128	+56%
営業利益	7	22	+223%
利益率	8.3%	17.1%	+8.8%

(単位：億円)

■ (ご参考) 主要関係会社実績  
 キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ

	1Q実績		増減	
	2021年	2022年	金額	率
売上高	21	23	+2	+9%
営業利益	1	2	+1	+260%

(単位：億円)

■セグメント別	2021年 1Q	2022年 1Q	増減	
			金額	率
エンタープライズ エリア	311	362	+51	+16%
その他	90	91	+1	+1%
合計	573	628	+55	+10%

■商品・ソリューション別	2021年 1Q	2022年 1Q	増減	
			金額	率
SIサービス	188	212	+23	+12%
保守・運用サービス/アウトソーシング	100	125	+24	+24%
システム販売・ITプロダクト	285	291	+7	+2%
合計	573	628	+55	+10%

※2022年より、一部商品事業の組替を行っており、2021年実績についても、その影響等の組替を行っております。  
 ※その他には、コンシューマセグメント、プロフェッショナルセグメント、本社部門、セグメント間取引消去が含まれます。

# 業績予想サマリー

(単位：億円)

	2022年 年間 (前回予想)	2022年 年間 (今回予想)	増減		2021年 年間 (実績)	前年比較	
			金額	率		金額	率
売上高	5,800	5,830	+30	+1%	5,521	+309	+6%
	(7.0%)	(7.1%)	(+0.1%)		(7.2%)	(Δ0.1%)	
営業利益	405	415	+10	+2%	397	+18	+5%
	(7.3%)	(7.4%)	(+0.1%)		(7.4%)	(Δ0.1%)	
経常利益	424	430	+6	+1%	411	+19	+5%
	(5.1%)	(5.1%)	(Δ0.0%)		(5.3%)	(Δ0.3%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	295	295	-	-	294	+1	+0%

# 業績予想 セグメント概要 前回予想比較

(単位：億円)

	2022年 年間 (前回予想)		2022年 年間 (今回予想)		前回予想比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,303	120	1,313	128	+10	+1%	+8
エンタープライズ	1,960	139	1,980	140	+20	+1%	+1
エリア	2,325	135	2,325	136	-	-	+1
プロフェッショナル	398	34	398	34	-	-	-
その他	△186	△23	△186	△23	-	-	-
合計	5,800	405	5,830	415	+30	+1%	+10

※「その他」には、セグメント間取引消去やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれます。

# 業績予想 セグメント概要 前年比較

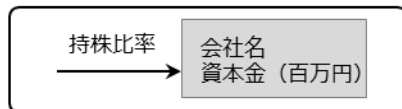
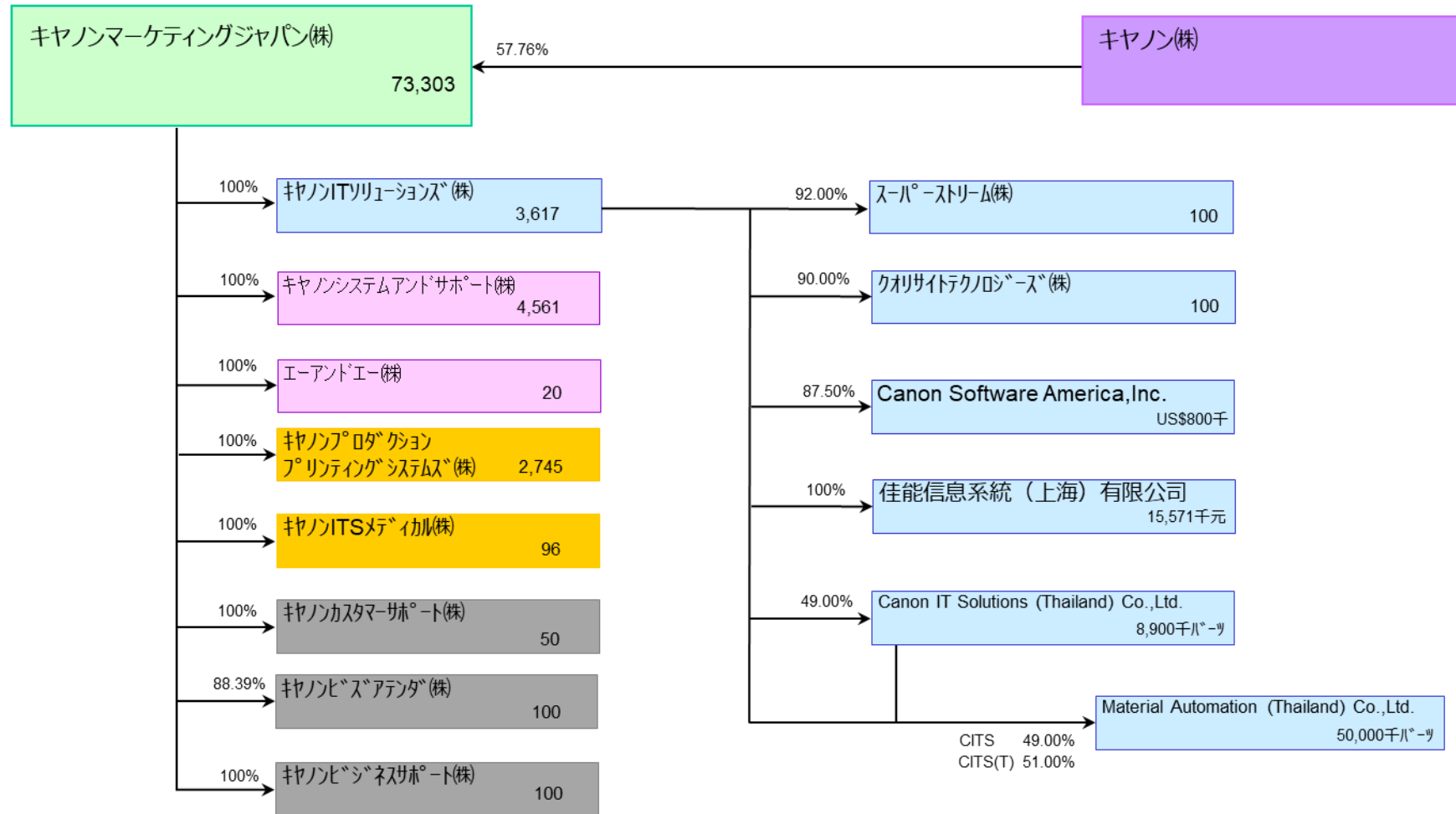
(単位：億円)

	2021年 年間 (実績)		2022年 年間 (予想)		前年比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,295	136	1,313	128	+18	+1%	△8
エンタープライズ	1,906	139	1,980	140	+74	+4%	+1
エリア	2,208	120	2,325	136	+117	+5%	+16
プロフェッショナル	315	25	398	34	+83	+26%	+9
その他	△203	△23	△186	△23	+17	-	△0
合計	5,521	397	5,830	415	+309	+6%	+18

※「その他」には、セグメント間取引消去やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれます。

# 參考資料

# 【参考】関係会社出資関係図



# 【参考】主要関係会社実績 第1四半期(1月～3月)

(単位：億円)

		2021年 1Q	2022年 1Q	増減	
				金額	率
<b>エンタープライズ</b>					
キヤノンITソリューションズ	売上高	245	277	+32	+13%
	営業利益	24 (9.9%)	38 (13.6%)	+13 (+3.7%)	
<b>エリア</b>					
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	262	248	△14	△5%
	営業利益	10 (4.0%)	14 (5.7%)	+4 (+1.7%)	
<b>プロフェッショナル</b>					
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	21	23	+2	+9%
	営業利益	1 (2.6%)	2 (8.4%)	+1 (+5.9%)	



# 【参考】販管費の内訳 第1四半期(1月～3月)

(単位：億円)

	2021年 1Q	2022年 1Q	増減
広告宣伝費	8	8	△0
販売促進費	6	6	△0
保証費	8	7	△1
その他直接費	43	40	△3
人件費	237	227	△10
減価償却費	3	2	△0
その他販売費	62	66	+4
合計	367	357	△10

# 【参考】営業外収支の内訳

(単位：億円)

	2021年 1Q	2022年 1Q	増減 1Q
受取利息	1	1	+0
受取配当金	0	0	+0
投資事業組合運用益	2	-	△2
その他	2	1	△1
<b>営業外収益 計</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>△2</b>
支払利息	0	0	△0
為替差損	0	1	+1
投資事業組合運用損	-	1	+1
その他	1	1	△0
<b>営業外費用 計</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>+2</b>

## 【参考】特別損益の内訳

(単位：億円)

	2021年	2022年	増減
	1Q	1Q	1Q
固定資産売却益	0	0	△0
投資有価証券売却益	0	0	+0
関係会社株式売却益	9	-	△9
特別収益 計	9	0	△9
固定資産除売却損	0	0	△0
特別損失 計	0	0	△0

# 【参考】貸借対照表

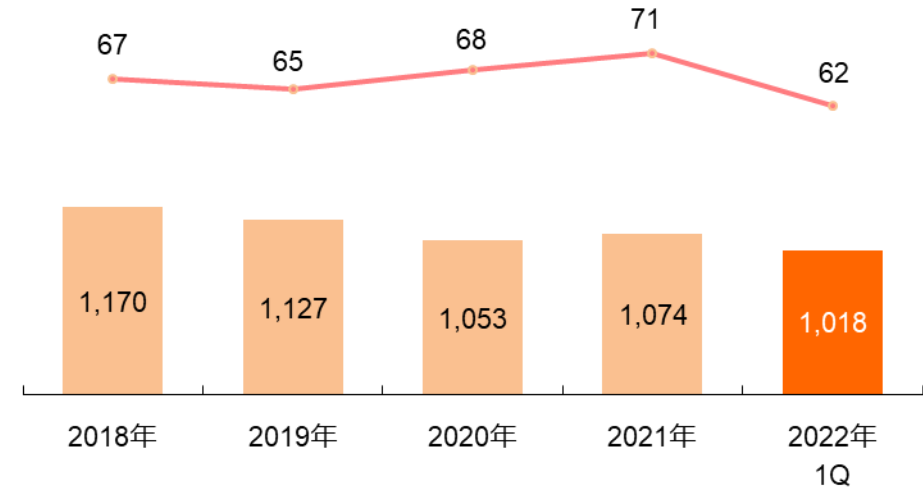
(単位：億円)

	2021年 12月	2022年 3月	増減
資産	5,264	5,291	+27
流動資産	3,961	4,011	+50
金融資産	680	753	+73
売掛債権	1,074	1,018	△56
棚卸資産	352	378	+25
その他	1,854	1,863	+8
固定資産	1,303	1,280	△24
有形固定資産	852	846	△5
無形固定資産	65	63	△3
投資その他	387	371	△16
負債	1,517	1,520	+3
流動負債	1,071	1,080	+8
買掛債務	463	500	+37
その他	608	580	△28
固定負債	446	441	△6
純資産	3,747	3,771	+24
株主資本	3,629	3,671	+42
(自己株式)	△21	△21	△0
その他の包括利益累計額	111	93	△18
非支配株主持分	7	7	+0
株主資本比率	71%	71%	+0%

## ■ 売掛債権

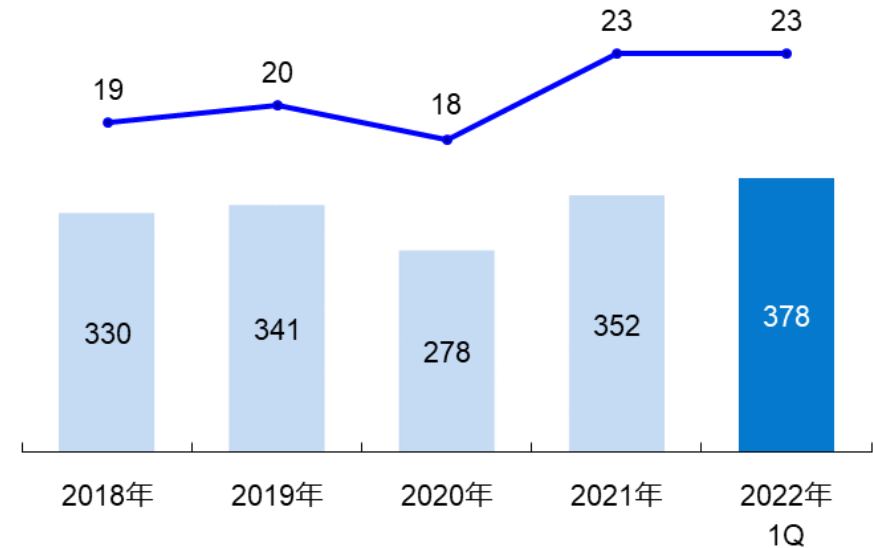
売掛債権 保有日数

(単位：億円)



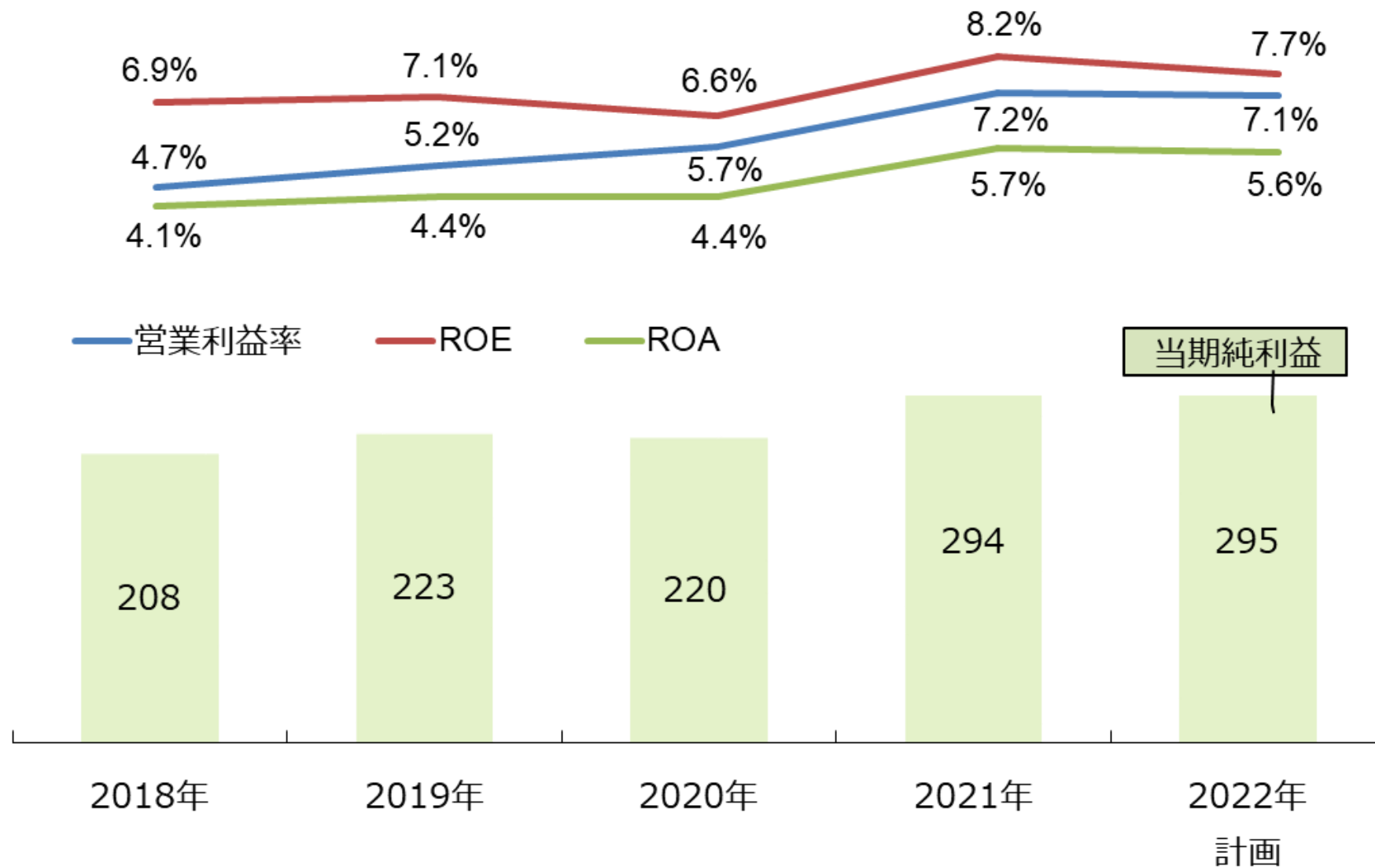
## ■ 棚卸資産

棚卸資産 保有日数

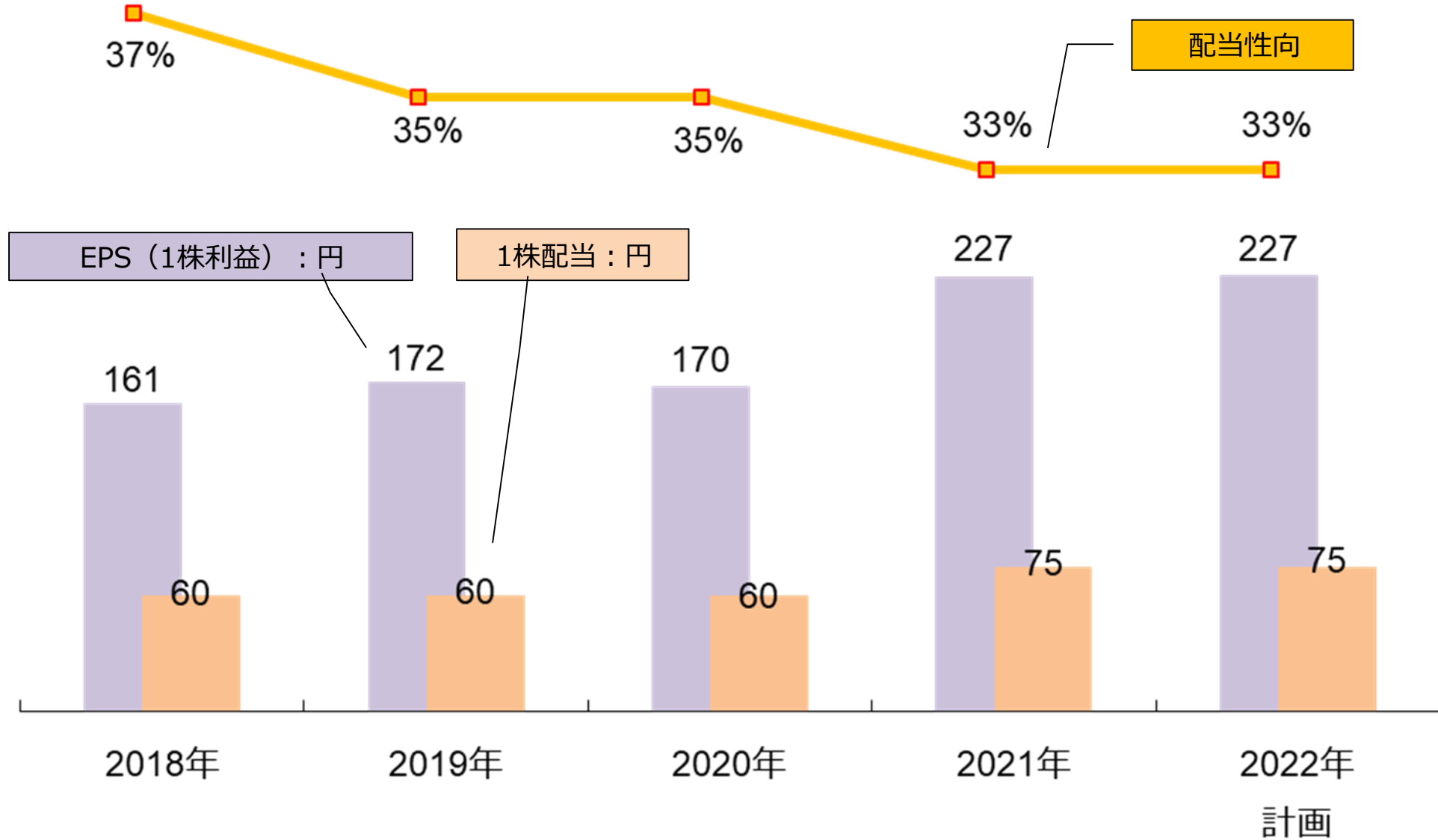


# 【参考】財務指標推移 営業利益率／ROA／ROE

(単位：億円)



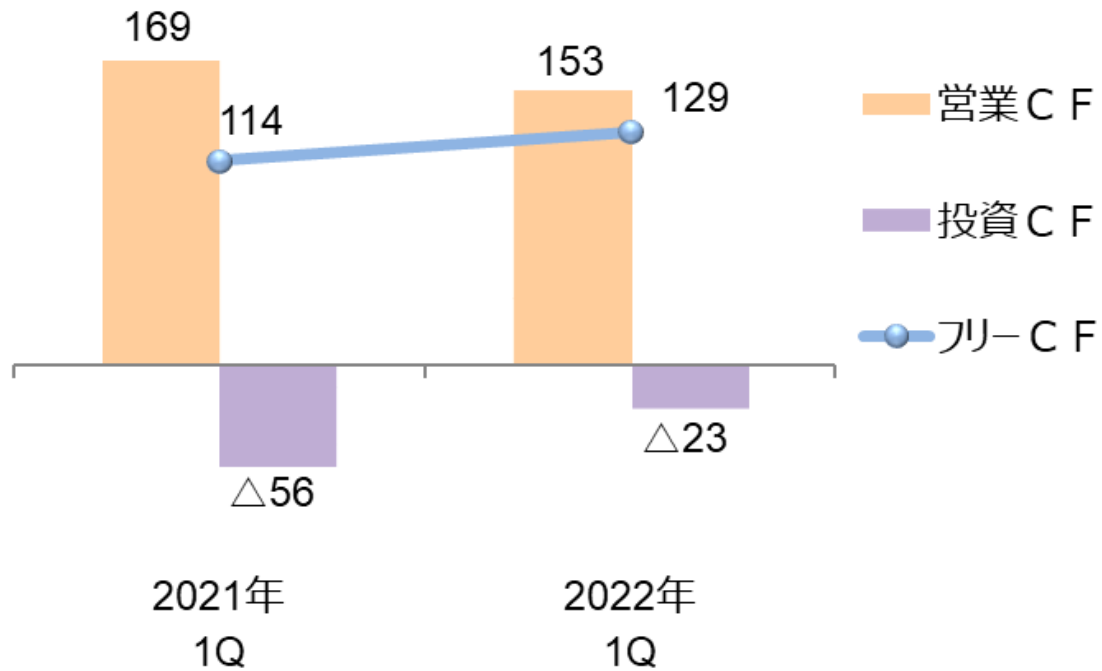
【参考】財務指標推移 配当性向／EPS／配当



# 【参考】キャッシュ・フロー／設備投資・減価償却

(単位：億円)

## ■ キャッシュ・フロー



## ■ 設備投資

	1Q 実績	2Q-4Q 計画	年間
2021年実績	32	94	126
2022年計画	18	108	126

※2022年1Qは実績を記載しております。

## ■ 減価償却

	1Q 実績	2Q-4Q 計画	年間
2021年実績	26	76	102
2022年計画	25	72	97

※2022年1Qは実績を記載しております。

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパングループ